

事務事業名		旧飯田測候所活用事業		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		環境モデル都市推進課	H28係等名	地球温暖化対策係	事業種別	政策	開始	26	終了
基本計画上の位置づけ		政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり					
		施策	55	日常的な環境負荷低減活動の展開					
目的	対象(誰・何を)	市民			対象指標	指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	地域自治活動及び環境学習の拠点とすることによるコミュニティの涵養及び温室効果ガス削減				飯田市の人口		101743	
	向上させたい上位施策の成果指標	飯田市全体の温室効果ガス排出量							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	温室効果ガス削減量(トン)			2671.3	3498.7	2576.1	2576.1	
	成果指標	温室効果ガス削減容量増加(トン/年)			1793.2	2014.4	1824.1	1824.1	
定性目標									
事業概要	リンゴ並木のエコハウスに次ぐ飯田市の環境拠点及び地域コミュニティ活動の場として活用するため、地域の歴史に根差した施設である旧飯田測候所を橋北地区住民の活動の場として活用し、及び指定管理者及び施設使用者である「おひさま進歩エネルギー株式会社」の実績と知見を活用し、これを増強すべく、環境に係る大学機関、研究機関などとの連携により、知見の集約を行った。								
事業内容					名称		活動指標		
27年度事業内容	旧飯田測候所の管理運営(指定管理)						266組 1,301人		
	1 うち、旧飯田測候所を活用した、環境学習事業やセミナーの実施 2 うち、地区住民による施設を活用した会合等の実施				1 実施回数 2 実施回数		1 28回 2 15回		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		4,908	5,033	5,014	4,996	[27特定財源] (そ)財産収入 貸付料 80,000円×12ヶ月=960,000円 電柱占用 5,860円			
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他		966	960	966	965				
一般財源		3,942	4,073	4,048	4,031				
人件費計(千円)②		250		3,576					
正規職員所要時間		70		1,000					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		5,158	5,033	8,590	4,996				
事業内容・目標達成状況の振り返り	新たに公の施設として一般の方に見学・利用できるよう整備され、指定管理制度の導入を行っているが、平成26年度からの新規事業ということもあり、当課及び指定管理者ともに試行錯誤しながら施設の管理・維持等に多くの労力を使った。また、飯田市の環境教育の拠点として、市役所本庁舎屋根貸し太陽光発電事業の売電収益の一部を活用した、飯田自然エネルギー大学を開校する運びとなり、更なる環境教育の拠点構築へ向けての方向性が見えてきた。								
改革改善の考え方	①問題点	施設の維持管理だけでなく、指定管理者との協力により、利用者数・事業実施数を伸ばし、環境拠点やコミュニティ拠点の核となる施設としての市民意識の構築が必要。							
	②改革提案	セミナーやイベントの企画・開催を増やすとともに市民に向けた広報活動を積極的に行う。							